

病害虫発生予察情報

向こう1ヶ月（11月）の予報

平成19年度 予報第7号

東京都病害虫防除所

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

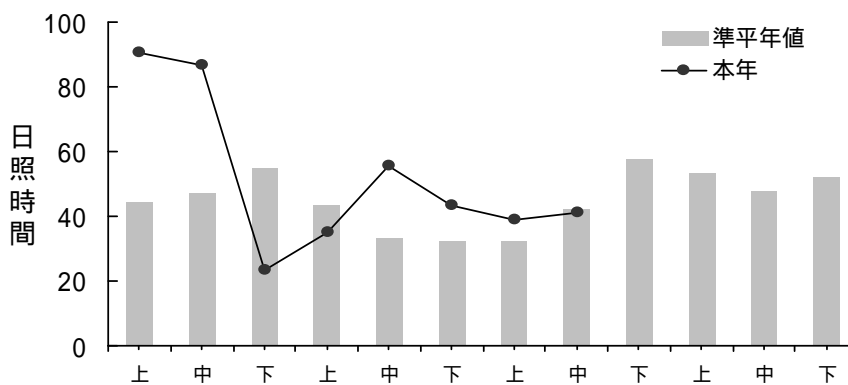
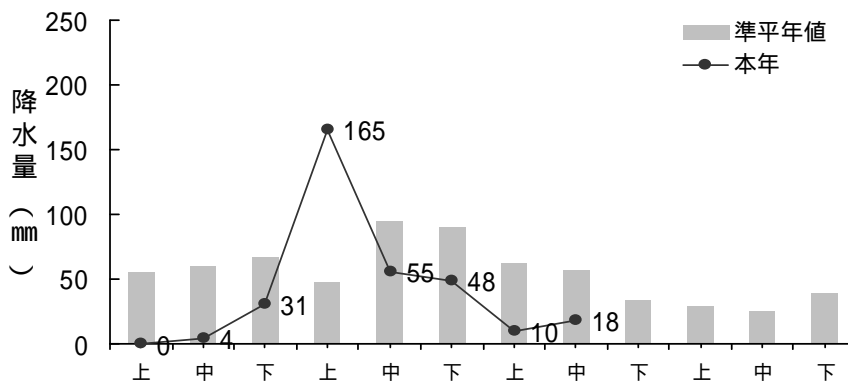
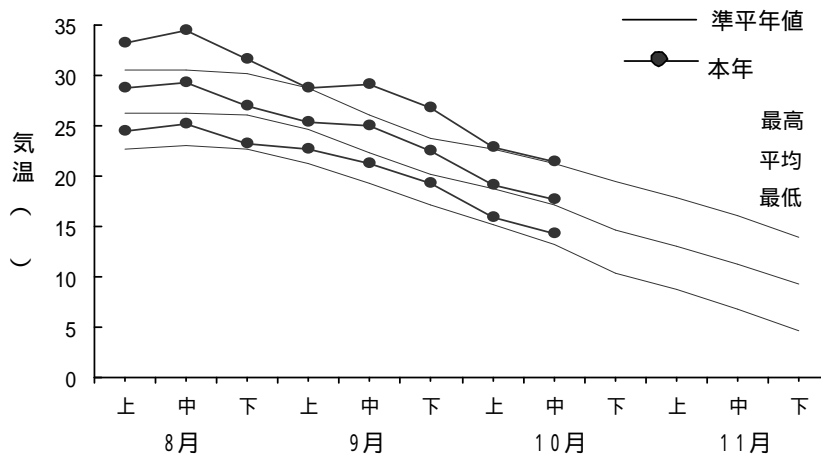
<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】2007年10月19日 気象庁 地球環境・海洋部発表，関東甲信地方の1か月予報より

確率	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気温	20	30	50
	降水量	30	30	40
	日照時間	40	30	30

【気温・降水量・日照時間の経過】 準平年値と本年の11月中旬までのデータを示した。
 (東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



*1: 1979-2000の平均値, *2: 1987-2000の平均値

近年、無登録農薬が全国的に流通し、使用されている実態が明らかとなり、国民の「食」に対する信頼を損なう大きな問題となりました。

このため、2002年12月に農薬取締法が改正され、2003年3月10日からこの改正法が施行されました。主な改正点は、

無登録農薬の製造、輸入、使用の禁止（販売は従来から禁止）

農薬使用指針に違反する農薬使用の禁止

罰則の強化など

であり、農薬を製造・輸入・販売・使用するすべての国民に関係する内容です。

農薬は農林水産省の登録番号のあるものを、ラベルをよく読んで使いましょう。詳しい農薬情報は、農林水産省ホームページ（<http://www.maff.go.jp/nouyaku/>）の「農薬コナ」をご覧ください。

改正農薬取締法の施行により、農薬登録の適用作物名「はなやさい」は、カリフラワーの別称で、ブロッコリーを含まないと定義されました。「ブロッコリー」および「カリフラワー」では使用できる農薬が異なりますので注意をお願いします。
ディプレックス乳剤はブロッコリーでは使用できません。

・露地野菜の病虫害

1. アブラナ科野菜

(1) キャベツの菌核病

予報内容

発生量 やや少～並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、現在の発生は各地とも少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 天候に留意し、防除指針に従い予防的に防除する。
- 2) 薬剤の散布にあたっては、収穫前使用日数に注意する。
- 3) 罹病株は翌春の発生源となるので、早めに処分する。

(2) キャベツ、ブロッコリーの黒腐病、黒斑細菌病

予報内容

発生量 キャベツ：やや少；ブロッコリー：並～やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査ではブロッコリーでは一部で発生はやや多く、キャベツではやや少ない。(±～+)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い予防的に防除する。
- 2) ブロッコリーは黒腐病に感受性が高いので今後の発生に注意する。

(3) ハクサイの軟腐病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では現在の発生は各地とも発生はやや少ない。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 本病は気象条件によっては11月中旬頃まで発生する。
- 2) 発病してからの防除は手遅れとなるので、薬剤の収穫前使用日数に注意し、予防的に防除する。

(4) コマツナの白さび病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はほとんど認められない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 密植を避け、施設では過湿に注意する。
- 2) 防除指針に従い防除する。

(5) コナガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 予察灯調査における誘殺数は少ない。(-)
- 2) フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない(-)
- 3) 巡回調査では全般的に発生は少ない。(-)
- 4) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)
- 5) 年間の発生消長では11月にも初夏に比べ少ないが発生のピークを生ずる。
(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。
- 2) 収穫後の残渣の処理を徹底して行う。

(6) アブラムシ類

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地でもモモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシの発生は少ない。(-)
- 2) アブラムシ類は各種ウイルス病を媒介するが、各地とも発病は少ない。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。
- 2) 薬剤に対する抵抗性が発達している場合があるので、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行う。

2. ホウレンソウ

(1) シロオビノメイガ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生は平年並である。(±)
- 2) 予察灯への成虫の飛来は少ない。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 寒冷紗などの被覆資材により侵入を防止する。

(2) モモアカアブラムシ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い薬剤を散布する。

・露地野菜および施設作物の共通病虫害

1. 野菜共通

(1) オオタバコガ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査ではトマトでの寄生株率16%で例年の2.2%よりも多い。(+)
- 2) フェロモントラップにおける誘殺数は少ない(-)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 果菜類の幼果や花き類の蕾を好むので排泄糞に注意、被害果や花雷を放置せず、速やかに処分する。
- 2) キャベツ、ハクサイ、トマト、ナス、インゲン、ピーマンなどのほか、バラ、キク、カーネーションなども加害する。
- 3) 防除指針を参考にして防除する。

(2) コナジラミ類

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では寄生葉率30%で例年の6.7%よりも高い。(+)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 今後、野外から施設内への侵入はほとんどないと思われるが、現時点で発生が多い施設では、防除指針に従い速やかに防除する。

(3) トマトサビダニ

予報内容

発生量 やや少～並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生は多い。(+)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 今後、春の増加期に被害を出さないため、防除指針に従い防除する。

・施設花き類の共通病虫害

1. 灰色かび病

予報内容

発生量 やや少～並

予報の根拠

- 1) 巡回調査ではシクラメンなどでの発生はやや少ない。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 施設内の過湿に注意し、罹病株や罹病残渣を施設内に放置しない。
- 2) 防除指針を参考にして作物ごとに防除する。

東京都病虫害防除指針：最新版をご覧ください
防除指針オンライン版でも平成18年度版を公開中です
(防除指針正誤表などの最新の情報をホームページ等でご確認下さい)

テレフォンサービス
042(525)8407

インターネット上の防除所ホームページ
<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病虫害の発生予報，発生状況，防除方法
などをお知らせしています。
最新の東京都病虫害防除指針もオンラインで
ご覧いただけます。